

大山崎町ハザードマップとは…

天王山と淀川に挟まれた自然豊かな大山崎町は、古くから災害にも悩まされてきました。特に近年は災害が局地化、集中化、激甚化しており、全国各地で大きな被害が頻発しています。このような災害が「明日は大山崎町に起こるかもしれない」という危機感を持ち、自分自身を守り、家族を守り、地域を守るために、まずは災害そのものを知ることが重要です。

このハザードマップは、大山崎町で発生することが想定される地震、洪水、土砂災害といった各種災害に関する被害想定や範囲、必要な備えなどを示したものです。

これを参考にご家族や地域で、平常時の備え、緊急時の行動についてしっかり話し合い、いざという時に少しでも被害を軽減できるようご活用ください。

※被害想定や範囲は一定の前提条件のもとにシミュレーションしたものであり、前提条件と異なる実災害が発生した場合には、結果が異なる場合がありますのでご注意ください。



平成30年7月豪雨
岡山県岡山市 国土交通省提供

平成28年熊本地震
熊本県益城町

目次

大山崎町の災害想定	P 3	土砂災害	P20~21
安全な避難のために・避難所	P 4~5	・土砂災害想定区域図	P20
防 災 情 報	P 6~9	・土砂災害の特徴と注意点	P21
水 害	P10~19	地 震	P22~25
・備 え	P10~11	・地震・地震への備え	P22~23
・浸水想定区域図(桂川)	P12~13	・地震ハザードマップ	P24~25
・浸水想定区域図(小畑川・小泉川)	P14~15	災害の備え、要配慮者、地域の協力	P26~27
・浸水継続時間	P16~17	非常持ち出し品	
・家屋倒壊等氾濫想定区域	P18~19		

ご利用にあたって

「大山崎町ハザードマップ」は、大山崎町民のための防災情報誌です。概略位置を示した参考図としてご利用ください。不動産取引の資料とするもの、告知義務の発生するものなど、お知りになりたい内容に応じて国土交通省、京都府、大山崎町にお問い合わせください。

なお、本誌に掲載されている防災情報は2019年3月現在、地図は2017~2018年に調製した大山崎町地図データをもとに作成しています。

大山崎町の災害想定

大雨による洪水(河川の氾濫)、内水氾濫(雨水による浸水)、土砂災害が発生するおそれがあります。

また、有馬-高槻断層帯による直下型地震や、南海トラフ巨大地震による建物の倒壊や液状化被害が想定されます。

自分の家の周りでどのような災害が想定されているのか、マップで確認しましょう。

内水氾濫

長雨やゲリラ豪雨など、町内に降った雨水が排水しきれず、道路側溝や水路から雨水が溢れて浸水被害が発生する可能性があります。

地震(揺れによる建物倒壊など)

有馬-高槻断層帯や、南海トラフ地震が発生した場合、町全域で大きな揺れが発生し、建物倒壊などの被害が生じる可能性があります。また、地盤が緩い土地では液状化現象が発生する可能性があります。

洪水(河川氾濫)

大雨によって淀川(桂川)、小泉川、小畑川が増水し、堤防が決壊して浸水被害が発生する可能性があります。町内の雨量よりも上流の雨量が重要となります。

その他

台風や竜巻による風害、落雷による被害、大規模火災なども想定されます。

土砂災害

天王山に降った雨水が土壌に浸透し、崖くずれや土石流、地すべりといった土砂災害が発生する可能性があります。

これらの災害のうち、洪水、土砂災害、地震に関する被害想定図などを掲載しています。